

2025年12月24日
アグリビジネス投資育成株式会社

農業のデータ活用的高度化による気候変動対策や担い手育成支援

～グリーン株式会社への出資について～




アグリビジネス投資育成株式会社（取締役代表執行役社長：堀部恭二、以下「弊社」）は、グリーン株式会社（代表取締役 CEO：戸上崇、以下「当社」）に対して出資したことをお知らせいたします。

当社は、環境・気象データや AI を活用した農業の栽培支援プラットフォーム「e-kakashi」を開発、販売しています。「e-kakashi」は、センシング機器をほ場に設置することで温度等の各種環境データを収集し、そこに気象データや生育記録等のデータを組み合わせ、独自のアルゴリズムで分析することで、収量の増加や作物の品質向上に資する栽培ナビゲーションを生産者に提供します。従来は環境データを測定してもその分析は生産者に任せられているケースが多く、データを有効活用するためには生産者も一定の知識と経験が必要という課題がありましたが、当社の「e-kakashi」は科学的な知見に基づくデータの分析機能を有し、生産者が実際の農作業に活かせる形でナビゲーションを行う点に特徴があります。

■「e-kakashi」のほ場への設置イメージ



（写真提供：グリーン株）



日本の農業は現在多くの課題に直面しておりますが、特に足元では気候変動の影響拡大にいかに対応するか、生産者の高齢化を受け次世代の担い手をいかに育成するかという点が喫緊の課題となっています。「e-kakashi」は、気候変動によりこれまでの経験では予測が難しくなっている施肥や防除のタイミングや収穫適期の判断等を科学的なデータに基づき予測する機能を有し、長年の経験に科学的な分析を組み合わせることで、こうした環境変化の中でも生産者は適切な判断が可能になると期待されます。また、次世代の担い手育成の観点でも、新規就農者が当社の「e-kakashi」のナビゲーション機能を活用することで経験不足を補いベテラン農家に近い水準の収量を上げた事例もあります。弊社は、これらの課題に対して「e-kakashi」が有効なソリューションになると評価し投資しました。

弊社は 2002 年に設立され、「国内農林漁業及び食品産業の持続的な発展」を目的として、国内外の「食のバリューチェーン」に関わる企業に対して、出資を通じた取組みの支援を行っております。弊社および株主である日本政策金融公庫、農林中央金庫をはじめとした JA グループが持つネットワークと、当社の優れた栽培支援プラットフォームである「e-kakashi」を組み合わせることで、気候変動への対応や担い手の育成といった農業が直面する課題解決に向けた取組みを推進します。

【本件に関するお問い合わせ先】

アグリビジネス投資育成株式会社 総務部 中原 TEL：03-5577-6377